



こんにちは  
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

白井まさ子 対

白井まさ子事務所

日本共産党港北区事務所内  
2013. 04. 17号  
横浜市港北区樽町1-24-36  
TEL(543)4138 FAX(543)2086  
E-Mail:mail@shirai-masako.jp  
http://www.shirai-masako.jp/

# 小児医療費、県内平均小学5年生まで無料

～横浜市は小1までの県内最低レベル、年齢引き上げを～

他の市等で取り入れられている小6までの医療費無料は、はっきりいって今後横浜市にとどまるかどうかの大きな材料。子育てをしている私たちと子どもが安心して住める市にしてほしい。(旭区、30代女性)

上記は、党市議団のアンケートに寄せられた声のひとつです。何歳まで子どもの医療費が助成されるかは、子育て世代にとって重要なことです。

神奈川県内で、今年度予算で通院の小児医療費助成の対象年齢が拡大するのは、横須賀市(就学前→小2)、茅ヶ崎市(同)、小田原市(小3→小6)、葉山町(小4→小6)。これで、横浜市は、川崎市・逗子市と並んで大井町・開成町(就学前)に続く最低レベルとなりました。

一方、中学卒業まで助成しているのは、厚木、海老名の2市と、中井、松田など6町村で、いずれも所得制限なしです。

神奈川県は、一部負担金があるものの、就学前までの通院費用と中学校卒業までの入院費用の4分の1(政令市以外は3分の1)を助成しているので、小学校以上の通院医療費助成は、各自治体の独自施策となります。

先日訪れた長野県下條村では高校卒業まで医療費は無料。他の子育て施策もあり、14歳以下の年少人口比率が県下1位です。

子ども・子育て施策の充実は、若い世代をとどまらせ、引き寄せます。若い世代の増加は横浜市を活気づけます。横浜市も、子ども医療費助成の対象年齢引き上げに踏み切るべきです。

## 神奈川県各市町村の小児医療費助成制度(通院)

2013年予算案より

	就学前(歳)						小学校(年)						中学校(年)			
	0	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3
横浜市																
川崎市																
相模原市																
横須賀市*																
平塚市																
鎌倉市																
藤沢市																
小田原市																
茅ヶ崎市*																
逗子市																
三浦市																
秦野市																
厚木市																
大和市																
伊勢原市																
海老名市																
座間市																
南足柄市																
綾瀬市																
葉山町*																
寒川町																
大磯町																
二宮町																
中井町																
大井町																
松田町																
山北町																
開成町																
箱根町																
真鶴町																
湯河原町**																
愛川町																
清川村																

■ 所得制限なしで無料      ■ 所得制限ありで無料

\* 10月から実施 \*\* 負担金あり(通院1回200円)。